右表は本年に於ける争議統計割合は

一、争議参加人員数は平均三三二名 一件平均廿七日 延人員二、〇九九一名

二、争議解決は有利六割八分、妥協一割八分、不利一割四分

三、争議発生原因別とすれば組合圧迫八、待遇維持及改善八、解雇及工場閉鎖反対六、計二二となるも其の多くは工場主側の組合に対する不理解及極端なる組合[illegible]態度に其の端を発せるもの多く。組合の必要性を認める工場に於ては多く交渉のみに依つて解決して居るのである。

[illegible]に至らざりし事件は無数である

加盟組合関係労働学校一覧 昭和三年七月現在

学校	人員	期間	学科及講師	組合
日本労働学校 東京芝区三田四国町 校長 鈴木文治 主事 木村盛	50名	毎週4日 1ヶ年	社会問題概論 安部磯雄 経済学 松下芳男 政治学 今中次麿 経済史 山崎[illegible] 社会学 [illegible]雄 社会運動史 小崎一雄 [illegible] 労働組合論 斉藤健一 労働法制 松永義雄 進化論 末定 経済政策 亀井貫一郎 工場管理法 小山寿夫 労働保護[illegible] 赤松克麿	東京聯合会
埼玉公民労働学校 埼玉県川口町栄町三丁目 校長 松永義雄 主事 井坂繁雄	80名	毎週5日 1ヶ年	社会問題概論 東原虎雄 経済学 松下芳男 商業組合論 水田金次郎 政治学 小嶋清金 労働運動史 木村盛 労働婦人問題 赤松常子 労働法制 松永義雄 労働組合論 原虎一 実用数学 野村 工場衛生及語学 冶鉄術	東京鉄工組合
神奈川労働学校 川崎市新川通り五九 校長 三木二郎 主事 徳永正報	100名	毎週3日 6ヶ月	社会学 東原虎雄 政治学 亀井貫一郎 労働組合論 土井直作 労働法制 片山哲 経済学 石川準十郎 労働運動発達史 赤松克麿	神奈川聯合会